



5月30日～6月5日は

# ごみ減量・リサイクル推進週間



ID 1004933

5月30日（ごみゼロの日）～6月5日は、環境省が定める「ごみ減量・リサイクル推進週間」です。身近な「食」をテーマに、すぐに取り組み始める「減量」や「リサイクル」の実践方法を紹介します。

私たち一人ひとりが、ごみの減量化・資源化に取り組む、限りある資源を大切に、環境に優しい社会を作りましょう。

☎ごみ減量課 ☎(632) 2414

## 👤 家庭で余った食品はフードドライブへ

ID 1021295

本市では、家庭で余っている食品を預かり、宮っこの居場所登録団体ネットワークやフードバンクうつのみやを通じて、必要としている施設や個人に提供しています。



対象となる食品や受け付け場所など、詳しくは、市☎をご覧ください。

## 👤 生ごみは堆肥に変えてリサイクル

ID 1005120

微生物の働きで生ごみを分解する非電動式生ごみ処理機（コンポスト）は、庭やベランダに設置して土壌改良剤などと混ぜることで、生ごみを堆肥に変えることができます。本市では、脱炭素を見据えたごみの減量を推進するため、設置費用の一部を補助しています。



補助制度など、詳しくは、市☎をご覧ください。

## 👤 お店の食品ロスもレスキューで削減

ID 1036146

フードシェアリングアプリ「TABETE」は、お店で売り切ることが難しいパンやお惣菜などの食品と、それを必要とする消費者をつなぐマッチングアプリです。



人気のケーキ屋やオープンしたてのパン屋など、登録店舗が続々と増えています。気になるお店をアプリを通してお得に「レスキュー（購入）」できるチャンスです。登録店舗情報など、詳しくは、市☎をご覧ください。

### 「TABETE」の利用方法

- ①アプリをダウンロードし、ユーザー登録。
- ②店舗や食品を検索。
- ③購入する商品を選択し、アプリ上で決済。
- ④店頭で受け取り。



▲App Store



▲Google Play

地域×  
デジタル×  
ボランティア

# 宮デジサポーターになろう



ID 1032603

本市では、誰もがデジタルの恩恵を受けることができるまちを目指して、スマートフォンの操作方法などを教える地域のボランティア「宮デジサポーター」の養成に取り組んでいます。

身近な高齢者からの相談への対応や、市が主催するスマホ講座などの講師や補助員として活動してみませんか。

☎デジタル政策課 ☎(632) 2786

## 📱 宮デジサポーターになるには

- ▼対象 市内在住か通勤通学する18歳以上の人で、本市が開催する全3回の講座をすべて受講・修了できる人（ICT関連資格などの要件なし）。
- ▼日時 7月4日（土）午前9時30分～11時30分、7月11日（土）午前9時30分～11時30分と午後0時30分～2時30分。全3回。

～2時30分。全3回。

- ▼内容 教える際の心構え、宮デジサポーター体験など。
- ▼定員 先着20人。
- ▼その他 日程や申込方法など、詳しくは、市☎をご覧ください。

### 宮デジサポーターの声

地域との交流を求め、月に1・2回のペースでスマートフォン教室の補助員として携わっています。受講者から感謝を伝えられるたびに、温かい心のつながりを実感しています。また、カメラを使った検索アプリで目の前にあるものの値段を調べたり、外国語のメニューを翻訳したりするなど、私自身も学ぶ良い機会になっています。

皆さんも新たな取り組みに挑戦して、ぜひ一緒にサポーターとして活動しましょう。



宮デジサポーター  
丸尾 祐二 さん

「私にできるかな」と少し不安を抱きつつのスタートでしたが、活動を通して、知識よりも同じ歩幅で寄り添う心が大切だと気付きました。今は、受講者の「できた!」という笑顔に喜びを感じています。スマートフォン一つで生活が便利で豊かになる、そんな幸せのお手伝いをこれからも続けていきたいです。

どなたでも活動できます。一歩踏み出して一緒に活動してみませんか。



宮デジサポーター  
西脇 百合子 さん